

日本薬局方

消毒用エタノール

400

サラヤ消毒用エタノール

〈外皮用殺菌消毒剤〉

*【主要文献】

1) サラヤ株式会社 バイオケミカル研究所 資料

**【文献請求先】

300

サラヤ株式会社 学術部
〒541-0051 大阪市中央区備後町4-2-5
TEL.(06) 4706-3938

ゴミ75%削減 減容ボトル

使用後手で簡単に折りたたみ
ゴミの減容化にお役立てください。

200

- ①ボトルの真ん中を両手で持ち、つぶす。
- ②しっかりと押さえ込んだ後、空気が入らないようにキャップをしめ、廃棄する。



100

製造番号：底面記載
使用期限：底面記載

容器 ボトル：プラ(PE)
材質 キャップ：プラ(PP)
ラベル：プラ(PE)

日本薬局方

消毒用エタノール

サラヤ消毒用エタノール

〈外皮用殺菌消毒剤〉

**2008年9月改訂(第3版)
*2008年3月改訂(第2版)

日本標準商品分類番号 872615

承認番号 21600AMZ00232000
薬価収載 2004.5
販売開始 2004.6

貯 法：保存条件 遮光して、火気を
避けて保存する。
容 器 気密容器

500mL

【禁忌】

(次の部位には使用しないこと)
損傷皮膚及び粘膜(刺激作用を
有するので)

【組成・性状】

本品は15℃でエタノール(C₂H₅O:46.07)
76.9~81.4vol%を含む(比重による)。
本品は無色透明の液で、特異なにおい
及びやくような味がある。本品は水と
混和する。本品は点火するとき、淡青色
の炎をあげて燃える。本品は揮発性



引火性

火気厳禁

危険物第4類
アルコール類(エタノール)
水溶性・危険等級II

サラヤ株式会社
大阪市東住吉区湯里2-2-8
TEL.06-6797-2525

日本薬局方

消毒用エタノール

サラヤ消毒用エタノール

〈外皮用殺菌消毒剤〉

である。

【効能・効果】

手指・皮膚の消毒、手術部位(手術野)の皮膚の消毒、医療
機器の消毒。

【用法・用量】

本品をそのまま消毒部位に塗布する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 本剤が眼に入らないように注意すること。眼に入った場合は直ちによく水洗すること。
- 広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。【エタノール蒸気に大量に又は繰り返しさらされた場合、粘膜への刺激、頭痛等を起こすことがある。】
- 副作用 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

| | |
|-------------------|------|
| | 頻度不明 |
| 過敏症 ^{注)} | 発疹等 |
| 皮膚 ^{注)} | 刺激症状 |

注)このような症状があらわれた場合には、使用を中止すること。

3. 適用上の注意

- 投与経路：外用にのみ使用すること。
- 使用時：1) 同一部位(皮膚面)に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。2) 血清、膿汁等のたん白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落としてから使用すること。
- 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗

日本薬局方

消毒用エタノール

サラヤ消毒用エタノール

〈外皮用殺菌消毒剤〉

装カテーテル等には、変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。

(4) 本剤は引火性、爆発性があるため、火気(電気メス使用等も含む)には十分注意すること。また、電気メスによる発火事故が報告されているので、電気メス等を使用する場合には、本剤を乾燥させ、アルコール蒸気の拡散を確認してから使用すること。

4. その他の注意 承認外の経皮的エタノール注入療法(PEIT)使用例で、注入時の疼痛、酷訂感、発熱、本剤の局所外流出による重篤な胆道・腹腔内等での出血、肝梗塞、肝不全等が報告されている。

【薬効薬理】

本剤は、使用濃度において栄養型細菌(グラム陽性菌、グラム陰性菌)、酵母菌、ウイルス等には有効であるが、芽胞(炭疽菌、破傷風菌等)及び一部のウイルスに対する効果は期待できない。

*【取扱い上の注意】

〈安定性試験¹⁾〉 加速試験(40℃、相対湿度75%、6ヶ月)の結果、外観及び含量等は規格の範囲内であり、通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された。↗

MADE IN JAPAN



〈調剤(包装単位用)〉

B